

インターナップ・ジャパン

<http://www.internap.co.jp/>

「切れない」、「安定品質」、「万全なサポート体制」のインターネット接続で、金融系を始めとして一般企業や自治体向けに信頼できるインターネットサービスを提供してきたインターナップ・ジャパン。2006年6月の大阪へのアクセスポイント開設により、関西の企業や自治体のニーズにも幅広く対応している。



インターナップ・ジャパン
営業部長 本田明人氏



インターナップジャパン 大阪事業所
アカウント・エグゼクティブ 古賀敏夫氏

安定したコネクティビティが ビジネスを力強くサポート

インターナップ・ジャパンの強みは、なんと言っても親会社である米国インターナップ・ネットワークサービス社が開発した独自の「インテリジェント・ルーティング機能」と厳格なネットワークオペレーションセンター(NOC)運用ポリシーである。

このインテリジェント・ルーティング機能を備えたアクセスポイントである「P-NAP」は、複数のインターネットバックボーンを通じて数万以上の対地に試験パケットを常時送信し、経路の品質測定を行っている。その分析結果に基づき、日時や宛先によって最適な経路を自動的にかつ予測的に特定し、ダイナミックにデータをルーティングさせるため、常にパケットの遅延や損失・ゆらぎを最小限に抑えた安定したデータ配信が可能となる。

これにより、金融系企業がインターネット上で展開しているミッションクリティカルな業務はもちろん、海外や不特定多数へのストリーミングやコンテンツデータ配信するようなケースにおいても安心して活用できる。

プロアクティブな NOCサポート体制

インターナップ・ジャパンのビジネスの強みは「安定したコネクティビティ」だけでない。「万全できめ細かいメンテナンスサービス」を評価する企業ユーザーも多い。

外資系ISPということもあり、24時間365日バイリンガルのエンジニアが直接顧客からの問い合わせに対応することや、30分以内にトラブルシューティングを完結させるSLA(米国でも日本でもこれまでSLA違反はなし)などは注目のサービスだ。ほかにも、30分毎の経過報告や最大6人までのコンタクトリスト登録が可能な点など、サービス&サポートは手厚い。

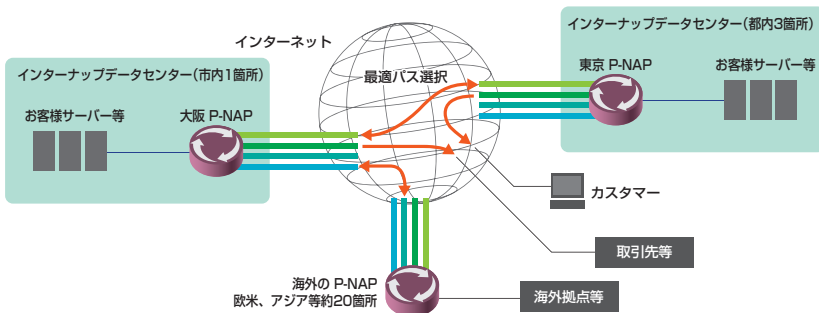
同社営業部長の本田明人氏は次のように言う。「品質がNO.1クラスであることだけでは、企業のお客様はあまり関心を払ってくれません。むしろご契約いただいたあとのフォロー体制がいかに充実しているかが大切。その点においての評価が当社のサービスへの高い継続契約率に結びついているのだと思います」

さらに本田氏は続けて、「これまで、多数

の法人様に当社サービスをご契約いただいております。お客様にとってIPサービスが安定しているのは、もはや当たり前のことです。お客さまには、当社のサポート&サービスを高く評価いただいております。例えば、お客様に影響が出そうな障害発生時に、お客様が気づかれる前にNOCエンジニアがトラブルシューティングに当たります。こうしたプロアクティブな「姿勢」を最も気に入っていただいているのでしょうか。顧客満足度の向上にも大きく貢献しています」と言う。

このP-NAPは、大阪では「eおおさかiDC」に設置されているが、安定した品質と接続性が評価され、今年に入ってIPバックボーンとして採用された。これにより、eおおさかiDCを利用している企業や自治体はインターナップ・サービスを自動的に利用できる仕組みが整った。これに前述の「万全なNOCサポート」を併せることで、関西の「志の高い」企業に対して今後サービス提供を充実させていく予定だ。

インターナップ・ジャパンのインテリジェント・ルーティングの仕組み



■お問い合わせ先

インターナップ・ジャパン株式会社

03-5209-2222 (東京)
06-4790-7220 (大阪)
info@internap.co.jp